
K-ON × カリオストロの城

T X

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

K - O N x カリオストロの城

【Nコード】

N 3 8 7 8 Z

【作者名】

T X

【あらすじ】

けいおんをルパン三世カリオストロの城風にしてみました。上手く出来るかわかりませんが、応援よろしくお願いします。

第一話（前書き）

けいおん：ルパン三世カリオストロの城バージョンです。

私は作者ではなく、弟です。知っている方もいますが、現在サツキというネームでやている私の兄は、入院中です。一つの作品を絶対に自分の手で書きたいと言っています。し

かし、待たすのも悪いので、もしも、平沢唯の性格が、あの消失の人みたいだったらの世界

が終わった後に、書く予定である、この作品を掲示します。兄がノートに書き留めていたので、代わりに打って欲しいと言われたからです。

現在、兄は体も良くなって回復しています。しかし、まだ入院は続きます。皆さん、もうしばらくお待ちください。

第一話

某国 深夜の国営カジノにて

空を闇で包みこんでいる最中に、屋上で怪しげに動く影が二つ。

??「おい、準備はいいか？」

??「うん、オツケーだよ。」

??「おっし！降ろすぜ。」

ロープに大きな袋を結びつけ、ゆっくり降下して行く。その袋から札束がはみ出していた。

地面に着地しようとした時だった。

ジリリリリリリリリ

眠りを妨げるぐらいの警報が響きカジノの電灯が点灯した。

??「やっべ！逃げるぞ唯！」

??「あいよりっちゃん！」

二人は大金が入った袋を担ぎ走り出した。二人の前にかくつものバリケードが敷かれていた……だが二人は

律唯「とお——————！」

飛び越えた……その次も

律唯「とお——————！」

また次も

律唯「とお——————！」

飛び越え、自分達の愛車であるフィアット500に金を押しこみ乗り込んだ。

唯「りっちゃん早く早く！警備員が来たよ！」

律「分かってるって！」

律はエンジンを掛け、猛スピードで走りだした。

バキュ ン、バキュ ン

律「うお！撃つて来やがった!？」

唯「必死だね。」

律「ああ…でも。」

唯「クフフフフ。」

二人は不敵に笑った。なぜなら……

警備員達は追いかけてようと次々と、車に乗り込みエンジンをかけるが

ブ ……ドガ ……ン!!

発進させるとタイヤが取れたり、真っ二つに割れた。二人は予め、車を壊していた。

そして一台の車のボンネットの裏に、律の似顔で

『く』苦勞さん』

と書いてあった。

律唯「八八八八八八八八！」

高速道路を走行している一台の車に、ギツシリと金が積み込まれていた。完全に二人は金に埋もれている状態だった。

律「50億はくだらねえぜ。」

唯「アイスいくつ買えるかな？」

律「アイスで計算するなよ。」

唯「まあまありっちゃん。お札のシャワーだよそれーーーーー！」

唯は律に金を投げ込む

律「バカ止めろ！」

唯「いいじゃんいいじゃん。」

律「まあいいや。こんなにあつたら笑いが止まらねえぜ。八八八八」

唯「八八八八。」

律「ハハハハ……ん？」

律は札束をジツと見ると違和感を感じ、スピードを落とした。

唯「どうじたのりっちゃん？」

律「捨ってちまおう。」

唯「ええ!？」

律「コイツは、偽モンだよ。よく出来ているけどな。」

唯「コレが?…まさか…国营カジノの大金庫から頂いたんだよ。」

律「ゴート札だよ。」

唯「ゴート札?」

律「幻と言われている偽札さ。国营カジノまでに、出回っていたとはな」

律はニヤツと笑い

律「唯。次の獲物が決まったぜ。前祝いにペア とやろっぜ!」

律は屋根開き

律「そりゃ!」

次に唯も

唯「えーい!」

運転席のドアも開き、金は空へ舞って行った。

空を舞って行く金はまるで…この世の汚さを表しているような光景だった。

偽札とも知らず、一体何人の者が、取り合つのであろうか

律と唯はそう思いながら目的地を目指す。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3878z/>

K-ON × カリオストロの城

2011年12月13日02時06分発行